

図1

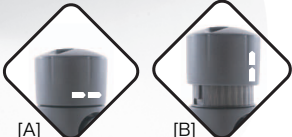


図2

電池は+と-の方向を正しく入れてください。お子様の手の届かないところに置いてください。水、火、あるいは高温のものを入れたり、開けたり、充電したり、さしあたりしないでください。腐食、漏れや損傷が生じる場合があります。

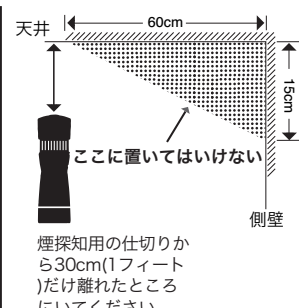


図3

FlareSafeは、安全のための厳重な必要条件に確実に合格するよう慎重にデザイン、開発、検査されてきた世界初の製品です。非常時には、FlareSafeの性能に頼ることができます。この独特な装置は、ミリタリーグレードのプラスチックを用いて製造され、電池管理ソフトウェアを進歩させてきました。flarebrands.comまでみなさんのご意見をお知らせください。

般情報

ご使用になる前に、FlareSafeと同梱された操作についての説明書(弊社のウェブサイトでよくご覧いただけます)、警告や事前の注意事項のすべてをお読みになり、その指示に従ってください。FlareSafeは頑強で信頼度が高くなるようデザインされてきました。しかし、決して壊れないものでもありませんので、上手に扱えばより長持ちするという常識があたりまです。最後に、極端な温度、埃の侵入等にさらされる可能性のある場所に設置しないようお願い致します。どんな長さの時間でもFlareSafeを保管しようとする場合、電池はすべて取り出してください。

FlareSafeには磁石が含まれています。FlareSafeは磁石により影響を受ける可能性のあるものそばに置かないでください。また強い磁石のそばには置かないでください。FlareSafeは、煙警報器のスイッチが入ったときを除き、いつでも耐水性を示します。

組み立て: 懐中電灯側の本体ねじを緩めてください。FlareSafeは分解し、電池を三本入れることができます。電池は+と-の向きを正しく確認して入れてください(図1参照)。

再組み立て: ガイドフィンをそれぞれ対応するスロットに合わせると、自動的に3ピンプラグが3ピンソケットにはまります。製品がしっかりと止まるまで、1/4回転させてください。製品はきつく締めすぎないように注意して下さい。

AA(単3)アルカリ電池を入れ替えるときは、いつも両方とも同時に入れ替えてください。電池を入れ替えるときは、いつも評判のある製造元による電池を使用しているかご確認ください。質の悪い電池は装置を傷める場合があります。電池を入れたあと、また消耗した電池を入れ替えるときはいつでも、当製品をテストして機能がすべて正しく働いているかご確認ください。

使用説明書はカバーの後ろをご覧ください(図4参照)。

煙警報機 - 後ろの蓋をねじると煙警報機が飛び出し、ピープ音になります。

SOSアラーム - D1とD2のボタンを同時に押してください。SOSアラームを止めるには、2秒待った後でD1とD2ボタンを同時に2秒押しつづけます。

懐中電灯 - D1を押すと懐中電灯が点灯します。

煙警報器

煙報知器はセットするときだけスイッチが入ります。アドバイス——就寝する度にセットしてください。

FlareSafeのソフトウェアは、煙警報器の長期信頼度を改善するようデザインされてきました。このソフトウェアは、煙警報器のスイッチを入れる度にその煙探知用の仕切りを何度も較正して信頼度を改善します。このため、「迷惑」警報の頻度が最小になります。

煙報知器をセットする——煙報知器のスイッチを入れるには、後ろ側のキャップを反時計回りにねじります[A - (図2参照)]。後ろ側のキャップが飛び出し、下から煙探知用の仕切りが表れます[B]。同時に、ピーツという音が1回聞こえます。その単独音で煙報知器にスイッチが入ったことがわかります。

スイッチが入ると、FlareSafeは5秒毎に煙をチェックします。この製品は15秒以上に渡り増加する煙を探知すると、アラームになります。

スイッチを切るには、単にキャップを押し下げ、定位置でロックされたのを感じるまで時計回りにねじります。煙探知用の仕切りはこれで後ろ側のキャップで覆われましたので、当製品は再びスイッチを入れるまで煙を探知することがありません。煙報知器のスイッチを切るときはピーツという音は聞こえませんがご注意ください。スイッチを入れてピーツという音が1回するか確認して煙報知器が正しく操作できるか毎週定期的にテストすることをお勧めします。

設置——煙は上昇しますので、スイッチを入れたFlareSafeはできるだけ天井の近くに設置します(図3参照)。煙は角(空流の死角)を避けますので、または天井から30cm(1フィート)を超えたところに設置しないでください。ランヤードを使用してFlareSafeを確保してください。

スイッチの入ったFlareSafeの周りに物がないようにしてください。「迷惑」警報を避けるには、次のものから45cm(1.5フィート)未満のところに設置しないでください——ヒーターやエアコンをつけると強制的に使用される換気扇、シーリングファンやその他空流の多い場所、浴槽かシャワーのある浴室(過度の湿気が蒸気が発生します)、蛍光灯。スイッチの入ったFlareSafeは蚊帳の中に設置しないでください。

トラブルシューティング

「FlareSafeのスイッチを入れたら7回ピーツという音がしました/スイッチが入ったら20分ごとにピーツという音がします。どうしてですか。」解答: FlareSafeは補充用電池リチウムCR123Aに残った電力のレベルを監視します。この電池の電力が少なくなってきたという音が聞こえたり、7回ピーツという音が聞こえます。(またはリチウム電池を違う方向に入れた場合にも7回ピーツという音が聞こえます。)この状態が初めて探知されたときや、引き続き煙探知器のスイッチを入れる度に7回ピーツという音が聞こえます。またFlareSafeは、煙探知器にスイッチが入るとリチウム電池の電力がなくなってきたという音が探知された場合もおおよそ20分ごとに1回ピーツという音を発します。解決法: リチウム電池を取り出し、評判のある製造元による新しい電池と入れ替えます。テストして当製品がこれで正しく動くかご確認ください。

「煙警報器のスイッチが入ると、火災の徴候が何もないのにFlareSafeのサイレンが鳴り続けるのはどうしてですか。」解答: サイレンが鳴ればいつも火災が発生していると推定し、いつも建物から避難してください。しかし、一旦全体的にチェックをすませたら、スイッチの入ったFlareSafeをどこに置いたかを考えてください(上の設置の章参照)。煙探知用の仕切りが過度の埃があればこのようなことが生じる場合がありますが、進歩したソフトウェアではこれが理由ではないと考えられます。解決法: FlareSafeのスイッチをもう一度入れ、偶然にサイレンを発する可能性のある上記のものいづれかにも近づかないよう注意してもう一度置き直してください。

SOS警報器

当製品の本体上に2つのボタン[D1とD2]があります(図4参照)。災害に遭ったら、同時に両方のボタンを押してください。鋭いサイレンが鳴り始め、自動的に懐中電灯のストロボが作動します。避難警報器のサイレンが甲高い連続音を発します。SOSアラームを止めるには、2秒待った後でD1とD2ボタンを同時に2秒押しつづけます。避難警報器は煙探知機のスイッチが入っているときでもいつも作動させることができます。

また後ろ側のボタン[D2]は装置すなわち SoundFlare の場所を突きとめるのにも有用です。どこにいるのか誰かに見つけてもらうまたは聞いてもらうために当製品の音を鳴らしたい場合は、単に後ろ側のボタンを押し下げてください。警報が鳴り、ボタンを押し下げている間ずっと懐中電灯の光が閃光します。

LED懐中電灯

D1を押すと懐中電灯が点灯します。

懐中電灯には4つの設定があります(電池のおおよその寿命は()の中)——フルパワーでスイッチON(10時間)、エネルギー節約のため少々の電力量でスイッチON(50時間)、避難を合図するためのストロボ警報器(周波数1Hz)のスイッチON (100時間)ならびにスイッチOFF。懐中電灯が5秒間を超えていづれかに設定されれば、D1ボタンを押すと電源が切れます。

懐中電灯は4つの白色LED(発光ダイオード)電球を使用します——LEDは頑強で非常に効率がよく、10万時間前後もちます。20mの有効距離があり、2km先まで図4が届きます。警告: 目を傷める可能性がありますから、ご自身の目や周りの方々の目に直接懐中電灯を照らさないでください。

トラブルシューティング

「どうして懐中電灯のスイッチがONにならないのでしょう。」解答: 2つのAA(単3)電池が消耗しているのかもしれませんが。ソフトウェアだけがリチウム電池に非常モードで懐中電灯に動力を供給することができます。解決法: 前部を開け、2つのAA(単3)電池を取り出し、評判のある製造元による新しいAA(単3)電池のペアと入れ替えます。

火災時の安全——当社ウェブサイトから詳しい無料火災安全ガイドをダウンロードしてください。火災時の対応法を知ること、ご自分の命をお守りください。

個人の安全——FlareSafeは、災害を防ぐ唯一の手段として信頼しないでください。危険度を減らすあらかじめ用意した手段と共にご使用ください。出かけるときはいつでもFlareSafeを使える状態で持ち運んでください。ルートまたは旅のプランを立て、誰かにどこに行くのか伝え、街灯がよく照らされた道を通り、街灯がありません近道、無人駅などは避け、適切な服を着用し、注意して、直観力を信用してください。

FlareSafeの煙警報器が鳴る場合、火災が発生していると推定してください。うろたえないでください。火災でうろたえる人は死亡する傾向がはるかに多くあります。所有物は放置し、警報を出し、他の人々に知らせるべく外に出ます。警報が出た際は、誰か権限を持つ人が現地の消防隊に連絡するか確認してください。火災の犠牲者の多くは煙を吸い込むことで死亡します。煙や熱が上に向かって酸素を床に押し下げますので、姿勢を低く保ってください。お部屋の力は持って出てくたさい。炎またはたたくさんの煙に遭遇した場合、部屋に引き返す方が安全なことよくあります。この場合、煙が入ってこないよう濡れたベッドシーツやタオルを使ってドアの隙間をふさぎ、風呂に水を満たし、壁またはドアを冷やすのに使います。窓は破壊しないでください。煙が入ってこないよう窓を閉める必要があるかもしれませんが、懐中電灯が白いシーツを使って窓から救援者に合図してください。

火災ではどうするか——スイッチの入ったFlareSafeが火災を探知すると、サイレンが鳴ります。同時に、懐中電灯が自動的にフルビームに切り替わります。煙警報器のサイレンが休止に続いてハイビッチのピーツという連続音を4回繰り返します。サイレンを止めるには、後ろ側のキャップを押し下げ、時計回りにねじります。後ろ側のキャップが定位置でロックされ、サイレンが鳴り止みます。懐中電灯の光はついたままですが、火災から避難する路を見つけやすくなります。懐中電灯の光を消すには、押しボタンD1定位置でカチッというまで回せば光が消えます。懐中電灯の光は30分後自動的に消えます。

FlareSafeは光学的な煙探知用の仕切りを使用して煙を探知します。FlareSafeは、厳重な英国安全基準BS 5446-1:2000における主な火災検査や煙の検査に合格してきました。煙報知器が正しく稼働しない場合は、FlareBrands Limited社からのアドバイスをお求めください。ランヤードには重要な使用説明が含まれていますので、煙報知器に不可欠な部分です。取り外さないでください。

トラブルシューティング

「FlareSafeのスイッチを入れたときピーツという音がしませんでした。どうしてですか。」

解答: ピーツという音で製品にスイッチが入って煙を探知する用意ができたことがわかります。ピーツという音がしなければ、製品自体にスイッチが入っていないと推定しなければなりません。

解決法1: 後ろ側のキャップを押し下げ一定の箇所までカチッというまで時計回りにねじって製品のスイッチを切ります。製品を10秒おいてからもう一度スイッチを入れます。これでピーツという音が消えます。

解決法2: 解決法1がうまくいかない場合は、リチウム電池とAA(単3)電池が消耗しています。製品を開けて3つの電池すべてを新しい電池と入れ替えてください。テストして当製品がこれで正しく動くかご確認ください。

警告: サイレンは非常に音が大きいので、この機能に慣れたときに、必ず戸外で腕を伸ばせば届くところで音響部を向こう側に置いて警報器をテストしてください。そうしなければ聴力が損なわれ

注: 煙警報器またはSOS警報器を始動するとピッチが上下するのにお気付になる場合があります。これは正常です——単に音響部が自然なピッチを探察しているにすぎません。

トラブルシューティング

「SoundFlareの[ボタンD2]を押してもききません。」解答: 煙警報器のスイッチが入っているときはSoundFlareのサイレンやストロボは動きません。

解決法1: 後ろ側のキャップを押し下げ、定位置でカチッというまでねじって煙警報器のスイッチを切ってください。

SoundFlareはこれで稼働します。

解決法2: 3つの電池すべてが消耗すれば FlareSafe の機能は何も動きません。消耗した電池を取り出し、評判のある製造元による新しい電池と入れ替えてください。製品がうまく作動するか確認するためテストしてください。

「SoundFlareの光はつきませんが、サイレンが鳴りません。どうしてですか。」解答: AA(単3)電池が消耗すると、当製品は補充用リチウムCR123A電池による非常用の機能しか始動させません。SoundFlareは光りますが、SoundFlareのサイレンを鳴らす力がありません。

解決法: AA(単3)電池を両方とも評判のある製造元による新しい電池と入れ替えてください。テストして当製品が正しく働いているかご確認ください。

「避難警報器のサイレンは鳴りませんが、消すことができます。どうしてですか。」解答: 避難警報器のサイレンは本体上の[D1とD2]ボタンの両方を押せば作動します。D1とD2ボタンを同時に2秒押しつづけるほかに警報音を止める方法はありせん。

解決法: 2秒待った後でD1とD2ボタンを同時に2秒押しつづけてください。

電力情報——FlareSafeには3つの電池が備え付けられています。2つの1.5ボルトAA(単3)電池が製品に電力を供給します。3ボルトのリチウム電池(CR123A)はただ非常機能のための補充にすぎません。通常の状況では、製品は2つのAA(単3)電池だけで電力が供給されます。懐中電灯の光が急速に暗くなってきたに気づくときは、2つのAA(単3)電池だけを入れ替える準備をしてください。一旦2つのAA(単3)電池が消耗すれば、「SoundFlare」のLED懐中電灯とサイレンとは両方のAA(単3)電池が入れ替えられるまで機能しません。電池の入れ替えは速やかに行ってください。

安全のためデザインの一部として、両方のAA(単3)電池を入れ替えるまでリチウム電池で非常機能すなわちSoundFlareの煙警報器、避難警報器やストロボの操作を行うことはできません。これは非常時にFlareSafeを作動させることを想定すると同時に懐中電灯とサイレンの電池をすべてに入れ替える、リチウム電池は数年もちます。

技術的詳細——可燃性の雲散煙探知器はBS 5446-1:2000に含まれる、主な火災検査および煙検査に合格してきました。4つの白色LED(発光ダイオード)(各11,000-15,500 mcd)つきLED懐中電灯。音響部(圧力タイプ): 避難警報器——測定値は音源で110デシベル(掃引周波数12Hz)。煙警報器——測定値は3m離れた地点で90デシベル(振動出力: 0.5秒出力/0.25秒出力(4掃引))。電力: 2つのAA(単3)タイプの電池(各1.5ボルト)と1つのリチウムCR123A電池(3ボルト)。FlareSafeはEMC検査に合格してきました。ケーンゲ——グラスファイバー入りABS樹脂

保証 購入から1年以内不完全な素材、できばえ、あるいは機能による欠陥があるとわかった場合は、製品の修理または交換を保証致します。お客様は購入の証明を提供していただきかつ欠陥ある装置を弊社宛に送っていただく義務がございます。装置を修理または交換するかどうかの判断は弊社独自の裁量となります。本保証は、正当な摩損や裂け目、偶然の破損、不注意、誤使用、あるいは軽視により生じた過失の責任について、または弊社が提供した使用説明書またはガイドに厳重に従った場合以外の他のいかなる使用については装置を保護しないものとします。さらに、本保証は意図された目的での使用以外で本装置のいかなる使用についてもお客様を保護しないものとします。また本保証は弊社または弊社により権限を与えられないいかなる第三者以外いかなる第三者により製品に対していついかなるメンテナンスまたは修理がなされたところについてはお客様を保護しないものとします。弊社により交換されたいかなる装置または装置の部品は弊社の所有物とします。

注意事項 本装置またはおける何もFlareBrands Limited社の不注意により生じた死または個人の傷害に関する責任、あるいは法によりFlareBrands Limited社が制限できないその他のいかなる責任を制限または排除しないものとします。かつお客様の制定法による権利に影響を受けません。上記を条件として、FlareBrands Limited社の責任はそれに関連する装置の交換の費用を超えないものとします。かついかなる場合においてもFlareBrands Limited社は装置に関して法的または結果的責任を負いません。あるいは明記またはほめられたいかなる保証の違反に関し、たとえその喪失または損傷がFlareBrands Limited社の不注意により生じたものであっても責任をもちないものとします。

注: FlareBrands Limited社は引き続き製品の改良に従事しておりますので、同封された製品は外見が包装上のもとは異なる場合がございます。

